

令和5年度第1回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年7月14日（金） 19時00分から21時00分まで
2. 場 所 消防防災センター 3階大会議室
3. 出席者 （委員）前田 眞、山川 和子、福濱 りか、横内 博之、立花 宏司
横内 薫、佐藤 温美、北岡 翔、田野 奈々重
（事務局）政策部長 高橋 哲也
地域振興課長 西岡 孝文
坂田 真治、宮本 純花、山本 大将、石井 彪
ボランティア市民活動センター 所長 藤原 雅秀
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 委員委嘱状交付
 3. 市長挨拶
 4. 委員自己紹介
 5. 会長・副会長の選任
 6. 議事
 - (1) ボランティア市民活動センター令和4年度事業報告について【資料1】
 - (2) ボランティア市民活動センター令和5年度事業計画について【資料2】
 - (3) 第4次ボランティア市民活動推進計画の策定について【資料3・4・5】
 - ・策定概要
 - ・第3次計画の評価と今後の方針
 - (4) その他
 7. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
課長	<p>1. 開会</p> <p>只今よりボランティア市民活動推進協議会を開会する。</p>
副市長	<p>2. 委嘱状交付</p> <p>(代表で前田 眞氏に交付)</p>
委員	<p>3. 副市長挨拶</p>
委員	<p>4. 委員自己紹介</p> <p>(副市長退席)</p>
事務局	<p>5. 会長・副会長選任</p> <p>会長については、前田委員にお願いしたいことを提案。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>副会長につきましては、委員の皆様の互選にて決定したいが意見はないか。</p> <p>(福濱委員と山川委員を推薦する意見があり、山川委員が副会長就任を承諾)</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長 副会長	<p>就任あいさつ</p>
	<p>(事務局自己紹介)</p>
会長	<p>6. 議事</p> <p>(1) ボランティア市民活動センター令和4年度事業報告について説明を事務局より願います。</p>
事務局	<p>(資料1に基づき説明)</p>
会長	<p>事務局からの説明について質問はあるか。</p>
会長	<p>企業ボランティアの実働状況はどうか。</p>

事務局	コロナで実働は少ないが、令和4年度は、中学校のテニスコートの整備などを実施。過去には小学校の樹木の選定や遍路道の清掃等も行っていただいております、これまで実働はない企業からも相談を受けており、今後活動を始められる予定。
委員	センターを通さずに活動している企業や団体も多くいると思われるため、そういった人を含めた集計はできないか。
会長	行政としては明確な根拠や情報がないと報告書に記載はできないと思うので、活動報告を市民から募集してボランティア通信のようなものに掲載するなどするのではいいか。
会長	(2) ボランティア市民活動センター令和5年度事業計画について 説明を事務局より願います。
事務局	(資料2に基づき説明)
会長	事務局からの説明について質問はあるか。
委員	四国中央テレビにおけるボランティアに関する番組が少ないので、市とタイアップしてもっと増やすことをお願いしたい。
事務局	事務局としても少ないことを実感している。今後、四国中央テレビに協力いただきながら増やしていきたいと思う。
委員	インスタグラムのフォロワーについて、年代の内訳はわかるか。
事務局	内訳はわからない。
委員	「やってみんの」を公式Youtubeに載せてほしい。
事務局	「やってみんの」を広めていくことは重要だと考えているので、今後Youtubeへの掲載を検討したい。
会長	コロナで活動が途切れたこともあり、積極的な情報発信が重要になってくる。多種類のメディアで発信できるような形にできるといい。ボラ7に限らず誰でも発信できるプラットフォームがあればいいと思う。
委員	「やってみんの」をリアルタイムでもっと視聴できるように、四国中央テレビと協力して、日時の周知等を行ってほしい。 チラシやロコミなど、周知方法は様々な手法があると思う。 また、ボラ7通信の発行回数を増やして、その分記載量を減らして伝えたい情報をわかりやすくした方がいい。
委員	ボラ7通信を折り込みチラシではなく、市報の中に印刷はできないのか。

会長	<p>広報にはいろいろ考え方・やり方があって、どこまでやるのかは難しい問題だが、できる限り努力してもらいたい。</p> <p>市報の件について、事務局から何かないか。</p>
事務局	<p>広報係の方に、年間を通して掲載枠を設けることができないか確認、検討します。</p>
会長	<p>(3) 第4次ボランティア市民活動推進計画の策定について 説明を事務局より願います</p>
事務局	<p>(資料3・4・5に基づき説明)</p>
会長	<p>事務局からの説明について意見等はあるか。</p>
委員	<p>基本目標である目指そう 市民いちボランティアの「いち」とは、市民の中で1番なのか、市民個人が1つボランティアをするということなのか。</p>
事務局	<p>市民1人1人が、何か1つのボランティア活動もしくは類する活動をするという意味です。</p>
委員	<p>活動している人を100%にするという目標ではなく、「皆がボランティアをするようになればいいよね」という意気込み的な緩い目標だという認識で相違ないか。</p>
事務局	<p>かなり緩いことは間違いないと思う。もっとうちの方が良い等の意見があれば、それを踏まえて検討する。</p>
会長	<p>到達できそうにない大きな目標を設定する方法と一步一步前進するような目標を設定する方法があり、どちらを設定するかも議論の余地がある。</p>
委員	<p>各企業のSDGsの取組とボランティアを組み合わせることでボランティアの活動数が増えると思う。</p>
会長	<p>単純に数値目標を達成するだけでいいのか。その辺も踏まえて、どういった目標を設定し、どのような方策を設定するのも議論していく必要がある。評価の方法等も検討していく必要がある。</p>
委員	<p>センターの認知度に関して、おさがりバンクのチラシを見て活用する際に初めてセンターの存在を知った。現時点では最初はたまたま見たり、知ったりするという状況なので、もっと学校や企業、地域との連携を強化して知るきっかけをつくる必要がある。</p>
会長	<p>センターに関わってみると重要性や必要性を感じてもらえると思うから、この計画の取組項目にセンターの活動を紹介しあうなどの落とし込んだプログラムをいれると地に足のついた計画になるのではないか。</p>
委員	<p>地域に根差している公民館と連携していくとよいのではないか。ボランティアの呼</p>

	<p>びかけ等に公民館だよりを利用するとよい。</p>
会長	<p>センターだけでなく、公民館からも情報発信することで密接なコミュニケーションをとることができるかもしれない。情報の提供・収集も含めて、委員の皆さんの意見も踏まえながら、新たな仕組みを事務局と協議しながら取り入れていけるとよい。</p>
委員	<p>学生がセンターを知らないという現状があるので、声かけ等から始める必要がある。また、SNSの動画配信を利用してリレー発信をするなど企画し、ボランティア同士のつながりを作るとともに、活動やセンターの周知をするのはどうか。</p>
会長	<p>取材等、大変な面もあるだろうが、そういったものに取り組んでいくのも良いと思う。</p>
委員	<p>ボランティアをしていることに気づいていない人が多いのではないかと。何気なくしていることもボランティアであることを市民に気づいてもらうために、SNSで「#しこちゅ〜ボラセン」をつけて投稿してもらい、それを見た人がボランティアに気づくことができる仕組みを作るとよいのではないかと。また、センター情報を発信する際にこの#をつけることで、センターの認知にもつながるのではないかと。</p>
会長	<p>閉会時間となったが、他に意見はないか。</p> <p>本日は、目標自体を緩くするか厳しくするかということは今後の課題としてあるといった話と、情報発信について公民館等との連携をどう図っていくかという話、SNSを利用したリレー形式の動画配信があってもいいのではないかとという話、ハッシュタグ運動をしてみるといった話があった。</p> <p>方策については現状の4つで進めていき、次回以降その中の項目を考えていけたらと思う。</p>
会長	<p>(4) その他</p> <p>その他について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(次回の協議会についての案内)</p>
会長	<p>議事は以上で終了したので、進行を事務局へ戻します。</p>
課長	<p>令和5年度第1回ボランティア市民活動推進協議会を閉会する。</p>